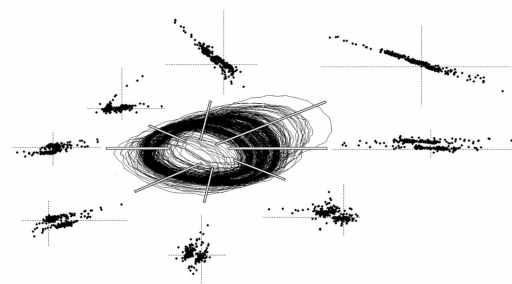


プラズマ・核融合学会誌

第100巻第1号

2024年1月

巻頭言	2024年の年頭にあたり	安藤 晃	1
プロジェクトレビュー	総説 プラズマ・核融合サイエンスチャート		
	1. 前書き	森 芳孝, 横山雅之, 仲田資季, 佐々木 徹, 後藤拓也, 金子俊郎, 永岡賢一, 門 信一郎, 浅井朋彦, 雨宮高久, 笠田竜太, 伊藤 悟, 上原日和, 安原 亮	3
	2. プラズマ・核融合学のアイデンティティ	仲田資季, 佐々木 徹, 後藤拓也, 金子俊郎, 永岡賢一	5
	3. 歴史と広がり		
	3.1 プラズマ科学	門 信一郎, 永岡賢一	6
	3.2 プラズマ応用	金子俊郎	13
	3.3 核融合プラズマ	浅井朋彦, 雨宮高久	20
	3.4 慣性核融合・高エネルギー密度科学	森 芳孝, 佐々木 徹	25
	3.5 構造材料・プラズマ対向材料	笠田竜太	28
	3.6 超伝導材料	伊藤 悟	35
	3.7 レーザー材料	上原日和, 安原 亮	38
	3.8 炉工学エンジニアリングマップ	後藤拓也	41
	4. 核融合プラズマのサイエンスその広がり	仲田資季, 森 芳孝	44
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			47
インフォメーション			48
	ITER だより (103)		
	【会議報告】 76th Annual Gaseous Electronics Conference (GEC 2023)		
	【人事公募】		
本会記事			54
	第15回核融合エネルギー連合講演会 開催案内		
	第40回プラズマ・核融合学会年会報告：総括・各領域からの報告		
	第40回年会 若手学会発表賞 選考結果の報告		
	第7回プラズマフォトイラストコンテスト結果報告		
	正会員のみなさまへのお知らせ：満65歳以上の正会員への特典		
編集後記			



表紙の絵

ポアンカレ断面を用いたカオス解析. ポアンカレ断面を作るために, 3次元空間に再構成軌道が描かれる. 図は, 様々な角度において再構成軌道を切断したときに観測されるポアンカレ断面を示す. 図は, カオスの引き延ばしと折り畳み (すなわち, 初期値敏感性によって引き起こされる, 2点間の距離が急激に離れて引き戻される現象) を示し, それは典型的なカオスの特徴である.

(Takao FUKUYAMA and Yutaro SUEYOSHI, Plasma and Fusion Research, Vol. 18, 1401088 (2023) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は, 本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています. 本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は, (社)学術著作権協会より許諾を受けてください. 但し, 企業等法人による社内利用目的複写については, 当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては, その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です).

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2 F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては, (社)学術著作権協会に委託しておりません. 直接当学会へお問い合わせください.